

2010年11月30日(火)

日本イラク医療支援ネットワーク

〒171-0033 東京都豊島区高田3-10-24

第二大島ビル303 ☎03-6228-0746

NEWS

バスラ市内のハイウェー(左写真)

10月、佐藤真紀事務局長がバスラを視察しました。車窓からの風景が現在のバスラの状況を物語っています。(関連記事 6ページ)

- ・8か月間の椅子取りゲーム 3
- ・チョコ募金のご案内 7
- ・国連ロビー活動に
参加して 4
- ・ひとかけらの
光を集めて
(JIM-NET参
加団体紹
介) 6



あえてローテクな支援を アルビル、ナナカリー病院報告

井下 俊(JIM-NET医師)

宇宙へと伸びるアルビル

アルビルでは、ホテルの名前に海外の都市名をつけるのが流行っている。昨年滞在したロッテルダムホテルのほか、アムステルダムホテル、バルセロナホテル、ホテルミラノなど。別にホテルとその都市が関係あるわけではないようだ。なぜだかは判らないのだが、きっと外の世界にあこがれているのだろうと想像している。

今回半年ぶりに訪れると、近日オープン予定の水星ホテルというのを見つけた。アルビルの人たちはついに地上を離れ、太陽系に目を向けだしたようだ。そのうちに太陽系をも飛び出し、アンドロメダホテルといった命名もされるのだろう。

広い世界・華やかな世界を目指し、夢をもつのは良いことである。しかし、失礼ながら「アルビルの人たちは自分たちの生活している地上を見ているのだろうか?」と感じている。アルビルはバブルの全盛で、ホテルや私立病院、ショッピングセンターといった民間部門の新築ラッシュだ。一方で、公的病院や学校といった民生部門は相変わらず貧しいままである。海外でも宇宙でも、そこに皆が到達できるのならいい。しかしロケットに乗れずとり残される人たちもいっぱいいる。我々の支援しているナナカリー病院という公的病院は、そういう患者たちであふれている。

薬剤購入委員会とロークテクな支援

華やいだ世界がもてはやされるのは実際の医療支援でも同じである。支援先から要望されるのは、最先端の抗がん剤や抗生物質あるいは先端医療機器が多い。もちろん白血病の治療に必要ではある。しかしその要望をすべて受け入れ、それに応じさえすれば良い支援ができるかというとそうではない。最先端のものを供給しても有効に使われないことがあり、ハイテク医療を移入するよりも、既に存在するロークテク分野の充実を図ったほうが有効な支援となりえることがある。1年前からクルド地区で小児がん患者を扱っているナナ



アルビルで看護師研修

10月31日から11月4日までの5日間、イラク北部アルビル市のナナカリー病院で、感染症対策を中心とした看護師研修が行なわれました。ナナカリー病院の看護師をはじめ、JIM-NETが支援しているバグダッドとバスラの看護師たちが一堂に会するのは今回が初めてです。

ナナカリー病院への支援を開始したのだが、そのような問題に直面している。

ナナカリー病院の薬剤管理には問題があった。在庫管理ができておらず、十分在庫のある薬剤が要望に上がったり、JIM-NETが支援した高価な薬剤が一人の医師のロッカーの中にしまわれたままで、その情報は他の医師に共有されていなかったりした。抗がん剤の扱い方も雑である。抗がん剤の投与は看護師や研修医任せで、指導的立場の医師が責任もって管理するようになつてない。そんな病院なら支援はやめるべきという話になろう。でもそうであろうか？

JIM-NETが支援しようがしまいがナナカリー病院は存在し続ける。アルビル市内では唯一、クルド地区でも3つしかない小児がん治療部門をもち、治安の不安定なイラクの他の地区から患者が来ることもある。そしてそこには、国外へ出たり、私立の病院へは行けないような子どもたちが押し寄せるのだ。ロケットに乗り遅れたからといって見捨てるわけにはいかない。見捨てることなく、我々の支援が少しでも有効に生かされるように工夫しなければならない。

よって薬剤支援は、まずは在庫管理と薬剤への認識を改めてもらうという考え方のもとに、ナナカリー病院内の医師・薬剤師で「薬剤購入委員会」をつくってもらった。JIM-NETが微弱ながら資金を提供し、彼ら自身で在庫チェックの上、薬剤の選定・購入・保管管理までしてもらおうというものである。購入する薬剤は極力抗がん剤は避けて、抗生物質など誤った使い方をしてもリスクの少ない薬をお願いしている。本年2月からはその方法で支援を開始したのだが、なにかと駐在中の日本人スタッフが頼りにされ、しばらくは委員会が機能しなかった。しかし今回の訪問で、ようやく委員会が機能していることが確認された。ナナカリーの医師らで意見交換の上、購入薬剤を決定し、JIM-NETも納得できる薬剤が適切な数量だけ購入され、薬剤部に保管され、いくらかは既に使用されていた。



病院前に集合したナナカリー病院のスタッフ



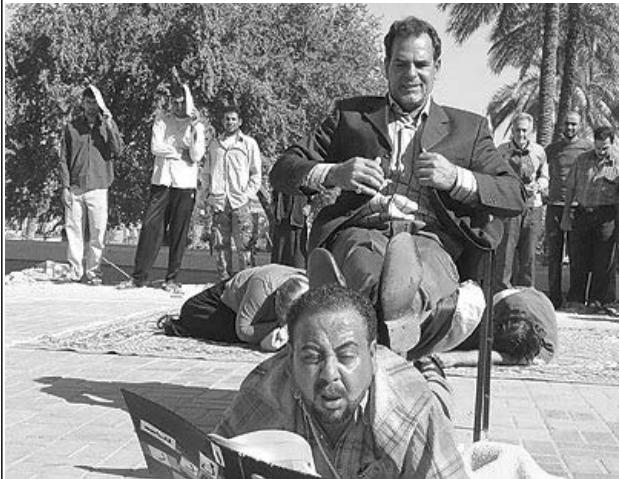
もう一つの支援は感染予防である。感染予防対策はJIM-NET設立時から、抗がん剤の配給とともに力を入れてきた支援だ。これは「手を洗いましょう」「床頭台はきれいにしましょう」「マスクはきちんとしましょう」といったもので、最先端でも華やかなものではなく、地味でローテクな支援である。「この薬さえあれば、患者が助かるのに」と思っている医療従事者からは、「なんやそれ？」と思われかねない分野である。つまり華やかな世界ではなく、現実の足元を直視させる、支援される側からすれば不愉快な支援であろう。しかし白血病治療においては重要であり、現在のイラクの状況では、最先端の治療法を導入するよりもずっと有効な支援である。

これを確立するのは難しい。川添看護師が常駐し指導しているのだが、なかなか容易ではない。乾燥し、粉塵の多い風土、面会者の制限が困難な大家族、床の上で手で食事をする習慣など、イラクの文化まで関わることが多いためだ。よって、まずは患者に最も接することの多い看護師の意識を変える必要がある。そのため今回、ナナカリー病院だけではなくバスラやバグダッドの小児がん病棟で働く看護師計10名程度をアルビルに招いて、5日間にわたる感染予防に関する看護師研修を行った。皆さん、興味持って参加し、熱心に実習をしていた。こういった機会を繰り返しもち、小児がん患者に接する看護師の意識改革から成就できれば、感染対策は実を結ぶのでなかろうかと思っているが、道は遠そうだ。

ロケットに乗れない人も

支援というものを「ロケットに乗れるようにすること」と定義づけるのであれば、JIM-NETのナナカリー病院での活動は不十分なのかもしれない。しかし、ロケットに乗り込めない人たちは必ず存在する。一見無駄で実りが少ないと感じられようとも、乗り込めない人たちに寄り添い活動することは重要な支援であろう。そういう支援を続けていきたい。

イラク情勢分析 8か月間の椅子取りゲーム 加藤 丈典(JCF アルビル駐在員)



「子供を抱く一人の貧しい男が、ゴミの山の中を疲れ切った様子であてもなく歩いていく。彼はふと目の前に椅子が置いてあるのを見つけた。少しは勞を癒せると思い目の前の椅子に腰を下ろそうとしたその瞬間…。外からドカドカと男達がやってきて、その椅子を遠くに放り投げてしまう。」(Sharqlawsat紙11月7日より)

いったい何の話かというと、実はこれ、イラクの市民団体によって行われた抗議行動パフォーマンスの一幕なのだ。3月7日に行われた国民議会選挙から8か月を経過し、タラバニ大統領が再選され、マーリキー氏を首相に指名してようやくイラク政府形成問題に終始符が打たれたが、この期間の政治的混乱のツケを国民が払わされている現状を寸劇に仕立てたものだ。劇中の「椅子」は、政府形成問題のネックとなっていた「首相の座」を、「突然やってくる男達」は政治家と海外からの圧力をそれぞれ表現したものだ。フィナーレは、突然やってきた男達が椅子にどつかと腰を下ろし、さらにへたばって倒れている貧しい子連れの男を足置きにして終わるという、なんとも救いようのない展開だが、ちっとも現実を誇張したものだとは思えない。政府ができるまでの国民の窮状、いやそれ以前から続いている国民の窮状はこれよりもさらに惨憺たるものだからだ。

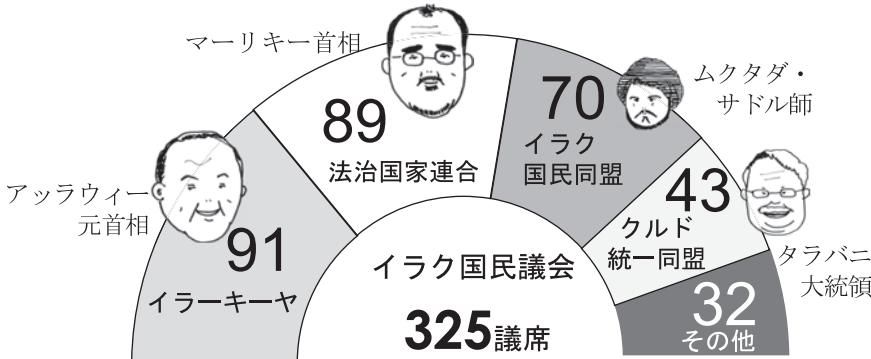
ところで、どうしてここまで、イラクの政府形成が遅れてしまったのか？ 選挙で第一党を獲得したイラキーヤ(91議席)が内閣形成の任を負うものと思われたが、選挙後に第二党となった法治国家連合(89議席)が、イラク国民同盟と新連合を形成し、自分達が最大の政治ブロックであると主張した。これをイラク統一最高裁が認める判決を出したところから政府形成の混乱は始まった。当然、この判決に対し、第一党となっ

たイラキーヤは、選挙での獲得議席数に応じた政府形成が行われるべきであると猛反発。結局、問題の解決は各党派による「合意」と「全党派参加」の合言葉によって進められることになったわけだが、新内閣の三要職「首相」「大統領」「国民議会議長」の座を巡って紛糾が続いた。イヤード・アッラウイーのイラキーヤとヌーリ・マーリキー首相(任期終了)率いる新連合「国民連合」を軸とした対立が続き、どちらも過半数を獲得できない中、10月にはクルド勢を取り込んだものが勝者となる様相を呈し始める。クルド統一同盟(43議席)とその関連勢力は、「クルド19カ条の要求」を両陣営に提示し、より多くクルド側の要求を受け入れた方を支持すると発表した。クルドが味方した方が首相となる。漁夫の利を得たクルド勢力がキングメーカーとなったのである。そしてイラク統一最高裁が議会の再開を命じ、11月12日、議長、大統領を選出し、なんとか政府形成の第一歩を踏み出すことができた。しかし評論家は、この政府を「3つの政府(米、イラン、アラブ)が混在した政府」と評し、政治決定が困難なものになるだろう、と予測している。

では一方で踏みつけられている国民の生活はいったいどうなっているのか。治安の面では、2010年の月別暴力事件による被害者数は200人前後を推移しており、大規模爆破事件などが発生した場合はそれが350人前後まで上昇する。11月3日にはバグダードで20件以上の同時爆破事件が発生。死者70人、負傷者400人以上という大きな被害をもたらした。またこの爆破事件の直前に発生したカラーダのキリスト教会襲撃事件に見られるように、キリスト教徒に対する迫害が顕著になっており、イラクにおけるキリスト教徒の数は激減。2003年の半分以下になったとも言われている。

政府形成の遅れは難民にも影響を及ぼした。UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)が行ったアンケート調査によると、ここ数カ月間に於ける、国外からの帰還難民の数が大きく減少したこと。またイラクに帰りたくない理由として最も多かったものが「政治の不安定」であった。その他にも「3万5千人が1歳未満で死亡」、「1500万人が栄養失調」「50万人の少女が小学校に登録すらされていない」、「識字率の大幅低下」…などイラク政府や国際機関の統計はありとあらゆる尺度でイラク国民の窮状を「これでもか、これでもか」と示している。

また国民の窮状を示すものとして、イラクの失業問題に触れてみると、1997年当時13.5%だった失業率が先日の労働省発表によると28.1%にまで上昇しているという。特に労働力全体の8割を占める15歳～24歳ま



での失業率は50.5%にも達するということだ。イラクの社会保障政策担当は匿名でこのように語る。

「現在のイラク政府の社会保障政策は、失業問題解決に対してなんら解決を与えるものではない。深刻な行政腐敗と汚職の蔓延で、実際に庇護を受けているのは省庁に勤務する公務員だ。」(Almada紙11月4日)ちなみにイラクの政治腐敗は世界で第4番目に高いとされている。

最後に汚職にまつわるこんなイラクのヌクタ(ジョーク)を紹介しよう。

「アメリカがイラクにがん専門病院を建設するために入札を行なった。まず日本が200億円で請け負うと手を挙げたが、アメリカは「高すぎる」と断った。次に中国が200億円で請け負うと言ったが、アメリカは「まだ高い」と断った。「それなら50億円でどうだ?!」とインドが手を挙げたが、アメリカは「それでも高い」と断った。そこにイラクが手を挙げ「250億円で請け負う」と言った。アメリカは「これまでの経緯を見てなかったのか?」と断わろうとした。するとイラクは「最後まで聞け。100億をあんたに、もう100億は俺と政治家達で分ける。残りの50億でインドにやらせるんだ!」

アラブのヌクタは世相を示すものと言われるが、がん専門病院をネタにしたこのジョークは、まったくもって笑えないものである…。

劣化ウラン弾廃絶に向けて

国連ロビー活動に参加して



NYで配布したチョコレート
各国の外交官たちに、現実から目を背けてほしくないというメッセージを込め、患者(サプリーン)の写真を使った。

の各国代表者との話合いは、ICBUWメンバーが電話やメールで代表者と連絡を取り、第一委員会会議中や終了直後に会場付近のカフェに来てもらうか、こちらから直接大使館を訪問するという方法で行いました。多くの国が集まるなかでも、前回2008年の決議で棄権した国々を重要な国と位置づけ、これらの国に対して今回の劣化ウラン弾決議に対して賛成票を投じるように呼びかけることに重点が置かれ、それと平行して、前回賛成を表明した国に対しては、引き続き賛成票を投じよう呼びかけました。JIM-NETとして代表者との話合いに参加することができたのは、韓国、スロバキア、ハンガリー、フィンランド、イラクの計5カ国でした。

私は、ICBUW(ウラン兵器禁止を求める国際連合)が国連総会第一委員会の劣化ウラン弾に関する決議に向けて行ったNYでのロビー活動にオブザーバーとして参加しました。ロビー活動としての各国代表者との話合いは、ICBUWメンバーが電話やメールで代表者と連絡を取り、第一委員員会会議中や終了直後に会場付近のカフェに来てもらうか、こちらから直接大使館を訪問するという方法で行いました。

話し合いは、ICBUWメンバーの司会によって進められ、劣化ウラン弾被害の検証方法やその難しさが議論のトピックとなりました。ICBUWは、検証を進めていくために、劣化ウラン弾が使用された地域や使用された量に関する情報公開の必要性を強く訴えていました。このICBUWの活動の成果の一つが、10月29日に第一委員会で採択された今回の国連劣化ウラン決議に「使用地域・量などの情報公開」に関する項目が盛り込まれたことです。JIM-NETは、話し合いの最後に少し時間をとってもらい活動内容を紹介し、外交官達に特製チョコレートを渡しました。パッケージに描かれた絵について説明すると、興味を持ってもらえ、好意的に受け取られたという印象を受けました。

特にハンガリーの女性代表の方は、子ども支援は非常に重要なことだと述べ、JIM-NETの活動を評価してくださいました。



外交官以外に、イラク帰還兵らにもチョコを配り、イラクの子どもたちのおかれている悲惨な現実を話した。

ようにイラク政府と協力していくべきなのが議論になりました。そのなかで、イラクの保健省への働きかけ方など具体的なアドバイスをもらうことができました。小児がんに関しては、小児がん治療のさらなる環境整備(がんセンター)が必要だと述べていました。

今回のロビー活動を通じて、各国代表者の劣化ウラン弾に対する認識の違いを感じました。劣化ウラン弾の問題について詳しい外交官もいれば、ほとんど聞いたことがないという外交官もあり、その認識の違いに合わせて話を進めていくことも重要なことだと実感しました。劣化ウラン弾決議の質問に関して、外交官たちが「中央政府に聞いてみないと分からない」と答えるしかない質問をしたり、こちらの情報を伝えるだけではなく、彼ら自身の意見を聞くことができる質問(例えば「劣化ウラン弾の問題についてNGOとどのように協力していくべきだと思うか」)をしながら、外交官とコミュニケーションを取っていくことが重要だと感じました。コミュニケーションをスムーズにするという点では、今回のJIM-NETのチョコレートは大変重要な役割を果たしていたと思います。国連決議に関する話であるので、当然のことながら、話し合いは終始かたい雰囲気で進みます。しかしチョコレートが出てくるとその場の雰囲気が和み、またそこから新たな会話が生まれることがありました。チョコレートは、今イラクで何が起きているのかを知ってもらい、かたい心を溶かす良いきっかけになると思いました。

今回のアメリカ滞在中、マサチューセッツ州にあるカトリックコミュニティー、アガペの「女性と戦争」をテーマにしたイベントに参加し、イラク帰還兵、被爆2世、ブルンジ難民そしてイラク難民の女性の話を聞くことができました。



イベントの参加者たちと。前列左ICBUWジャパンの振津さん、後列右JIM-NETボランティアのテムラクさん、前列右が筆者

イラク帰還兵であるRobyn Murrayさんは19歳の時にイラクに派兵され、任務中は学校建設など復興支援に関わっていたものの、いつ襲われるか分からぬという恐怖感から市民に対しても銃を向けていたと言います。イラクで市民を殺したことへの罪悪感を涙ながらに話していましたが、スピーカーとして話すRobynさんの目の前にはイラク難民の女性が座っており、彼女の瞳を見るとイラクの人々の顔が思い出されると語っていました。Robynさんは現在、反戦イラク帰還兵の会(IVAW)のメンバーとして活動されています。イラク難民の女性は、Robynさんのようにこれまで自分が経験してきたことについて多くを語ることはまだできないけれども、このイベントに招待してくれたことに感謝すると語っていました。

このイベントには、あるイラク人家族も招待されました。この家族はイラクのモスルで米軍の攻撃によって母親を失い、兄弟のうち弟(8歳位)の方が大やけどを負いイラクでの治療が困難なため、アメリカで治療を受けているとのことでした。兄(10歳位)の方は、外傷はなく見た目は元気そうにしていましたが、自由時間には亡くなった母親の似顔絵を描くなどして過ごしていました。その様子を見ていると、彼のように心に傷を負った子どもたちがイラクに大勢いるということをあらためて思い起こされました。

イベント会場にICBUWとJIM-NETで写真やキルトの展示を行い、劣化ウラン弾について小さなコーナーを設けました。あるイベント参加者は、ICBUWやJIM-NETの活動に感謝の気持ちを述べながらも、「この国で劣化ウラン弾について知っている人は1%以下だろう」と残念そうに話してくれました。米軍は依然として劣化ウラン弾を保有し使用していますが、アメリカ国内の劣化ウラン弾に対する関心は低いままなのが現実です。

ただ、イベントの中で主催者であるSuzanne Belote-Shanleyさんの「*Obama cannot change without us.*

(私達市民なしでは、オバマ大統領も変革を為し得ない)」の言葉のように、現状を変えていくには市民一人ひとりの声が不可欠です。国連などの各国政府関係者へのロビー活動と共に、アメリカをはじめ劣化ウラン弾を保有する国の市民に呼びかけ、一人でも多くの人に劣化ウラン弾について知ってもらうことが、劣化ウラン弾廃絶に向けて一歩一歩前進していくためには最も大切なことをあらためて痛感しました。



イラク帰還兵のRobyn Murrayさん

大江 パトリシア
大江 仁 (JIM-NET ボランティア)

10月20日に、事務局長の佐藤真紀さんによるイラク(バスマラ)出張報告が、JIM-NET事務局事務所で行われました。

佐藤さんがバスマラを訪れたのは、学会に参加し、現在のイラクの医療環境を見に行くためでした。

イラクの子供たちは、湾岸戦争やイラク戦争の時に投下された劣化ウラン弾の影響でがんや白血病に苦しんでいます。その中でもバスマラは、他のイラクの地域よりも4倍ほどがんや白血病で苦しんでいる子供たちがいます。

近年は、バスマラのインフラも改善されてきていますが、停電がよく起こり、湾岸戦争時か、現在のイラク戦争時のものかははっきりしていませんが、劣化ウラン弾で攻撃された可能性のある戦車が置き去りになっていたり、多くの野良犬が平気で道を歩いたりしています。

佐藤さんはバスマラで病院を訪れました。そこでベッド数が足りず床で寝る人々、JIM-NETがマスクを提供しても、マスクをしないなど、ずさんな衛生環境を

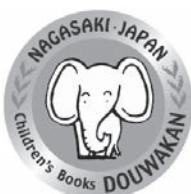
目にしました。10月21日、アメリカ政府によって多額の予算をかけて新しい病院が完成しました。しかし、佐藤さんはかけられた予算の多くを地域病院や小さなクリニックに支援・援助出来たのではないか、と考えます。また、この新しい病院には、最先端の医療器具が揃っていますが、それを扱える医師がいるのか心配しています。

イラクの多くの地域で、治安はまだ改善されていません。バスマラでは、テロの数が減ってきていますが、バグダッドではいまだ多くのテロが起こっており、モスルに至っては、テロの数が年々増えています。しかし、アルビルは安全なため、JIM-NETはアルビルで会議を行ったり、日本人医師を呼び、イラクの医師たちに医療技術を提供していました。

がんには多くの種類があり、それぞれ必要な薬が違うのですが、その診断を確実に出来る医師がいなければいけません。そのため、JIM-NETがアルビルで行っている技術提供はこれからイラクの医療環境を改善していくために、とても重要になっていきます。



JIM-NET参加団体のご紹介 No.4 子どもの平和と生存のための童話館基金



「子どもの本の童話館グループ」は、1981年に創業し、長崎市に拠点を置く、絵本、子どもの本を総合的に事業とする企業です。絵本・子どもへの本の書店(童話館)、童話館出版、祈りの丘絵本美術館、「童話館ぶっくくらぶ」を運営しています。わけても、子どもの成長の年令に応じて絵本・子どもの本を選びぬき、毎月、定期的に配本する、全国ネットの通販の会員システム「童話館ぶっくくらぶ」は当社の主要な事業であり、ここからの収益によって「童話館基金」は維持されています。

「童話館ぶっくくらぶ」の会員の子どもたちは、絵本を読んでもらい、自分で本を読むことで、人間としての大切な力、精神的なさまざまな力を輝かせてていきます。その輝きのひとかけら、ひとかけらを合わせて、光のあたらぬところにいる子どもたちの足元を少しでも照らしていきたい、そんな願いで発足しました。

ひとかけら、ひとかけらの光を集めて、まずは、私たちに身近な、同じアジアの地域の子どもたち、女性たちの自立への支援を続けています。

ひとかけらの光を集めて 川端 強

また、長崎は、被爆都市です。同時に、当時軍都として、侵略戦争の加害の街でもあります。9.11の後アフガニスタンとイラクへの軍事攻撃が始まり、とりわけ、イラクでは、劣化ウラン弾の影響と思われる症状が顕著です。同じ放射能による武器の苦しみという被害と、同時に加害を知る街の「童話館基金」として、イラク・バスマラのバスマラ産科小児科病院への医薬品の支援を続けています。なお、JIM-NETの構成団体であったアジアとむすぶ市民の会・ながさき(2009年末に解散)は、バスマラからのべ三人の医師を招聘し、長崎大学医学部での研修のお世話などをしましたが、同会の代表も事務局もありました。

バスマラへの支援とともに、現在では、日本国際ボランティアセンター(JVC)との協同事業として、カンボジアでの農業と環境教育の支援を行っています。また近い将来の、カンボジアでの童話館独自の事業のさきがけとして、これもJVCの協力のもと、孤児院への食料品支援を始めています。



童話館

チョコ募金に限りなきご協力を!

今年もチョコ募金『限りなき義理の愛大作戦』の季節がやってきました。2006年に5千個のチョコから始まったこの募金も、回を重ねるごとに数を増やし、前回は10万個ものチョコが募金者の皆さまの手に渡りました。おかげで、北イラクに日本の医師や看護師を常駐させ、イラクの白血病の子どもを救う活動を精力的におこなえるようになりました。毎月400万円近いお薬を子どもたちのために送ることができています。景気のいい話がほとんど聞こえてこない昨今、本当にありがとうございます。

この募金のチョコは、「哲学」のあるチョコです。チョコの缶やカードの絵には、イラクの白血病の子どもたちの思いがこもっています。その思いを、ぜひ多くの方に知っていただきたいと思います。

今回は、12万個のチョコをご用意しました。このチョコが一つも無駄にならぬよう、前回同様、皆様のご協力をお願いします。募金規模が大きくなればなるほど、関わる人も多くなってきます。イラクの子どもたちはもちろん、この作戦に関わる多くの皆さんに元気になるよう、限りない愛をくださいますようお願いします。

JIM-NET代表：鎌田 實

チョコづくりの現場から

～町工場とチョコ募金～

JIM-NETのチョコレートは、2007年から北海道の六花亭にお願いしています。以前はアーモンドチョコをキャンペーン用に詰めてもらっていたのですが、昨年からは、缶入りのハート型をしたチョコになり、缶に子どもたちの絵をプリントしてもらっています。

北海道で缶も作っているのかと思っていたら、埼玉県の製缶会社に委託生産しているとのこと。一日2千個程度しか出来ないので、12万個だと2か月はかかるてしまいます。

まず、足立区にあるブリキ板専門の印刷会社で一斉に印刷します。印刷は町工場で1日もかかりません。この辺りは、かつてアメリカ向け輸出用のブリキのおもちゃの印刷をやっていた会社がたくさんあって栄えていたようですが、ドルショックの打撃を受け、その多くは廃業してしまったそうです。さて、印刷が終わると、埼玉県の草加市にある缶工場で打ち抜きをします。

この工場は、社長とお父さんの会長、そして年配の従業員のたった3名で切りもりしています。プレスの打ち抜き型も30年前のものを使っているそうです。お菓子の缶ということで、打ち抜いた後は、塗料の切り



お申込みは
受け付け開始!
お早めに!

12月1日から

申し込み専用ダイヤル
03-3209-8177

梱包作業の現場から

前回から梱包と発送を川崎市の知的障害者通所授産施設KFJ多摩はなみづきに委託しています

JIM-NETの「限りなき義理の愛大作戦」におけるチョコレートの封入作業を委託していただきました、KFJ多摩はなみづきでは、一般就労には課題があるものの、働く意思のある方々が通つて来られ、日々作業を行い、その収益を分配し、少しでも地域で暮らすための経済的自立に近づいていくことを目標に活動しております。

しかし昨今の経済状況や政局の流れの中で、収益をあげていくことは非常に困難な状況となっています。その中でチョコレートの封入作業を委託していただいたことは、障害のある方の自立に大きな力添えをいただいたと感謝しています。

また、作業を通じて世界の子どもたちの幸せに少しでも貢献できることは、作業に関わる方々に社会人としての大きな自信を与えていただきました。物心両面にわたるご支援をありがとうございます。

KFJ多摩はなみづき 主任
米田 博之

屑などを、1個ずつ丹念に取り除いていく作業をします。職人さんが、黙々と作業されている姿に、日本の産業を支えてきたものづくりの原点を感じました。社長さんに、缶の絵の説明をすると「私にも2歳の女の子がいるので、イラクの同じような年頃の小さな子どもががんで苦しんでいると聞くとつらいですねえ」とおっしゃっていました。

製缶工場の多くは、お中元やお歳暮用のお菓子の缶などを作っていますが、昨今の不景気でそういう習慣もなくなってきて、廃業するところも増えています。小さな町工場にとって、チョコ募金の12万個は「内需拡大」効果もあり、「是非、これからもよろしくお願いします」と念押しされました。数が増えると、日本社会も元気になる。そんなチョコを目指したいものです。

JIM-NET事務局長：佐藤 真紀

2011年カレンダーのご案内

○ イラクの家族 手作りカレンダー(アファーク・プロジェクト)



前号でご紹介したアファーク・プロジェクトから2011年のカレンダーが届きました。横210×縦145mmの卓上型カレンダーで、スタンド部分は布製で、布製のらくだが縫い付けられています。

カレンダーには子どもたちの絵が使われています。カレンダーパーツは紙製で横130×縦90mmです。カレンダーの収益は患者家族の生活支援に使われます。(1部1000円 送料80円)

○ イスラム暦付きカレンダー(エリコ通信社提供)



アラビア語と中東メディアのエキスパート、エリコ通信社が今年もイスラム暦付きカレンダーを製作・販売します。

デザインを一新した今年のカレンダーのテーマはMa'lumat(アラビア語で情報・知識)で、中東各地の美しい写真が紹介されています。すっきりとしたデザインで、予定を書き込みスケジュール帳としてお使いになります。横180×縦151mmの卓上型カレンダーです。

エリコ通信社によると、「中東・イスラム社会とのお付き合いでいつも頭を痛めるのは暦の違い。うっかりしていると、先方はお休みでいくら電話しても出てくれないといったことがよくあります。イスラム暦の月の名前と日付が、通常のカレンダーに付記されているので、イスラムの休日がひと目でわかり、大変便利」とのことです。

なお、このカレンダーは、チャリティカレンダーで、1部につき500円がJIM-NETを通してイラクの子どもたちの医療支援



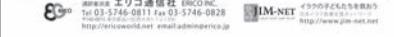
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



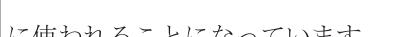
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



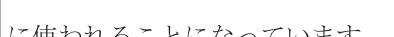
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



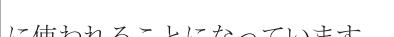
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



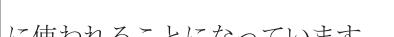
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



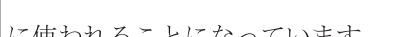
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



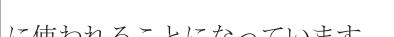
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



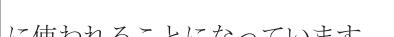
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



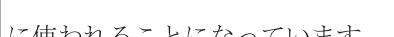
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



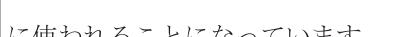
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



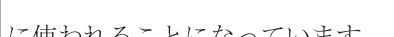
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



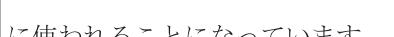
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



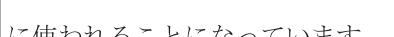
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



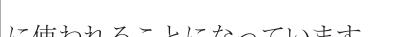
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



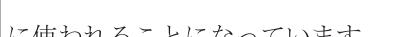
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



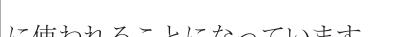
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



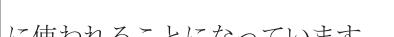
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



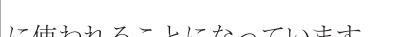
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



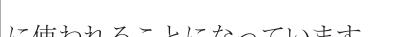
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



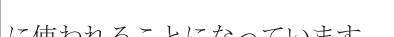
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



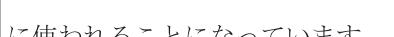
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



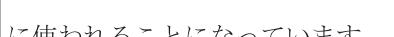
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



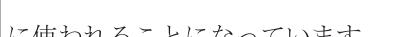
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



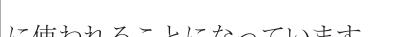
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



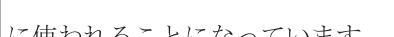
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



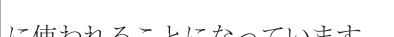
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



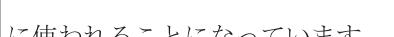
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



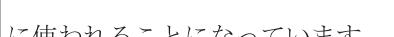
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



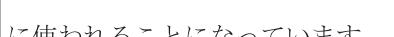
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



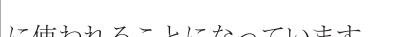
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



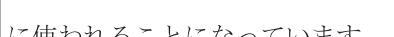
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



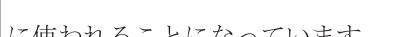
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



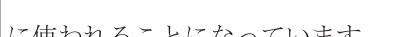
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



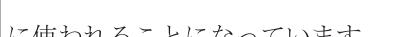
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



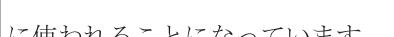
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



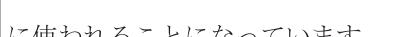
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



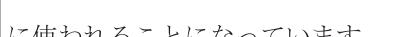
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



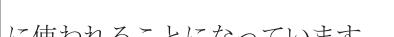
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



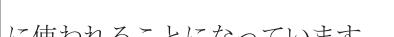
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



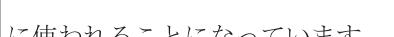
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



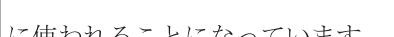
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



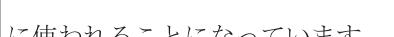
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



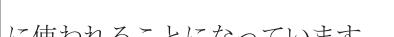
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



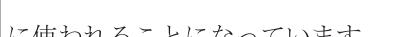
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



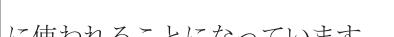
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



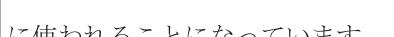
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



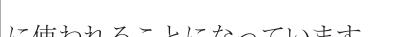
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



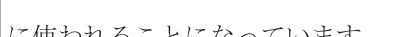
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



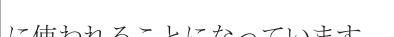
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



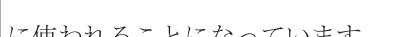
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



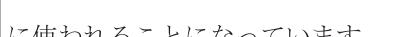
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



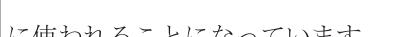
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



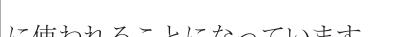
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



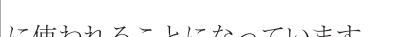
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



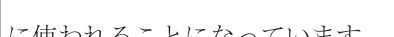
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



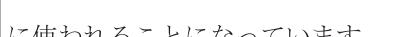
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



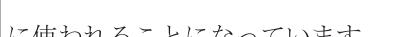
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



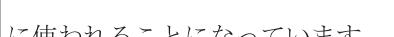
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



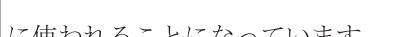
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



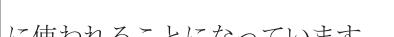
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



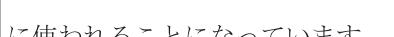
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



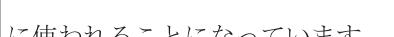
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



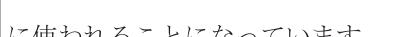
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



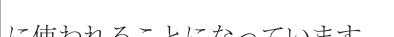
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



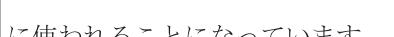
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



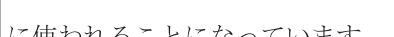
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



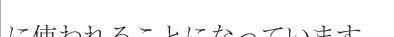
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



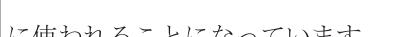
address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp



address: エリコ通信社 ERICO INC. Tel 03-5746-0811 Fax 03-5746-0828 http://reco-world.net email@erico-irica.jp